

市立大津市民病院大学 健康講座レポート



テーマ：『大腸がんで死なないために出来ること』

- ◆日時：平成30年6月14日（木）14時～15時
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：当院消化器内科医長 田中順子医師、
- ◆参加者：65名（院外64名、院内1名）



田中講師からは、大腸がんは早期に発見すれば高い確率で完治できること、大腸検査の重要性について講義がありました。また、自覚症状が無いうちに検査を受けることが大切で、検査それぞれのメリット・デメリットについても話をされました。

質問コーナーでは、内視鏡やCT検査への質問が数多くなされ、皆さんがCT検査や内視鏡検査へとても関心をもっておられることが分かりました。

講義後のアンケートでは「検診の大切さを知りました」「大腸CT検査の存在を初めて知った」「是非、CT検査を受けたい（内視鏡での下剤が大変つらい為）」等の感想をいただきました。

次回開催予定



- 日時：7月12日（木）14時～15時
- テーマ：「脳梗塞にならないために、なってしまったら」
- 講師：脳神経内科診療部長 廣田 伸之 医師
- 場所：市立大津市民病院 9階会議室

研修医 note

①名前

市川貴博

②出身大学・卒業年度

浜松医科大学、2017年卒業

③趣味

フットサル

③医師を目指した理由

父親が消化器外科医であり、忙しいながらも楽しく仕事に励んでいる姿を見て将来の職業として考えました。

④どんな医師になりたいですか？

病気に対しての治療行為だけでなく、生活背景も考慮した包括的なケアを行える医師を目指したいです。

⑤研修医2年目の目標

研修医1年目の時よりは、より能動的に医療に関わっていきたいです。

